

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【新開小学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	(1)自らの学習状況を把握し、学びに向かう力 (2)友達や地域・保護者と関わりながら、協働的に問題を解決する力
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	(1)児童一人ひとりの課題に合わせて学習に取り込む時間や振り返りを行う時間を設定して、学習内容の定着を図ったり、さらに理解を深めたりする。【週2回の学習タイム、毎学期末の学力向上タイムを実施】 (2)ユネスコスクールの特徴を生かして、答えが1つではない課題について考えたり、表現したりする活動を取り入れた授業を展開する。【全学年において、地域や保護者と連携・協働した、教科横断的な視点に立った教育活動の実施】

ざらざら(構円)

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		結果提供(2月)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		調査の振り返り(4月)
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		結果から考えられる児童生徒の実態(7月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		さいたま市学習状況調査(5月) <小1~中3>(11~12月)
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	調査結果分析(7月)
↓		
学力向上策の 見直し		中間評価(9月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)